



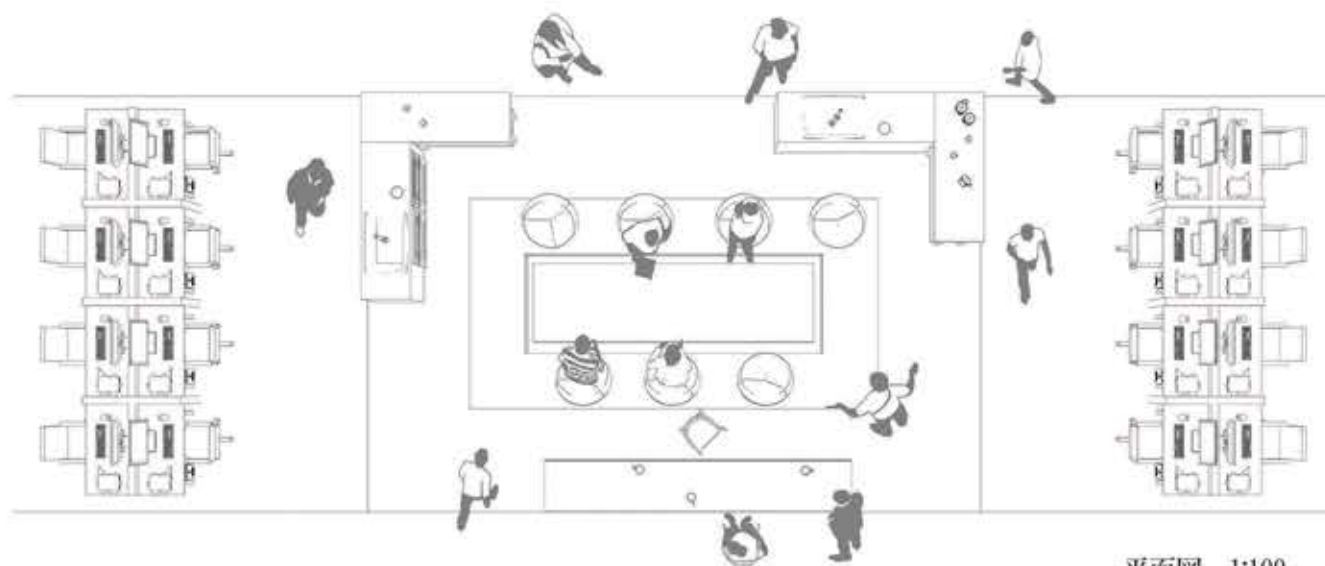
INFORMAL SPACE

職場環境はフォーマルな空間からカジュアルな空間へ変遷しつつある。それは、気楽にコミュニケーションできる空間はクリエイティビティや生産性を促す重要な要素だと言われる。それに対して、一般的なオフィスレイアウトを想定し、だれがいつでも寄れ、開放的かつ温もりの感じるキッチンを集いのスペースとして提案する。

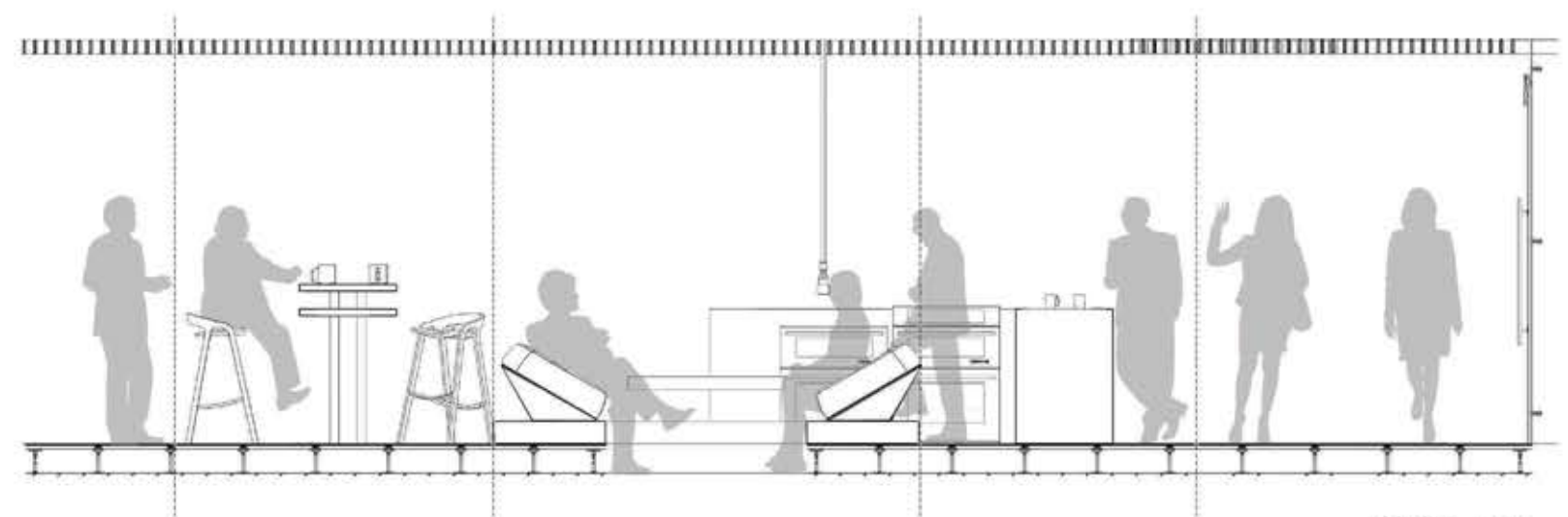
仕事の場、憩いの場、調理の場、食事の場、ミーティングの場など使い方が定まらないインフォーマルな空間とする。レイアウトは3レイヤーに分けており、外側から内側へ「通行、寄り掛かり、座り込み」という異なる滞在時間に応じたゾーニングとする。通行から寄り掛かりへと誘致、寄り掛かりから座り込みへと誘致およびその逆、スムーズに人を引きつけるシステムとして設える。

床に座り、地に落ち着いた体勢で気軽なコミュニケーションがとれる空間とする。掘りごだつのように、エルゴノミックな座り方で、冬時に足湯のように温まり、快適で長く居られる求心的なスポットとする。

15x90のスギ製材を用いたルーバー天井を設けることによって、開放性を確保しつつ、フォーマルとインフォーマルのスペースを仕切ることができる。それに、原木家具を採用することによって、木の香りや温もりで全体的に居心地よき有機的な空間が構築できる。



平面図 1:100



断面図 1:50